

石和町の民生児童委員と交流



昨年10月15日、東員町保健福祉センターで民生児童委員と山梨県笛吹市石和町の民生児童委員が交流・意見交換を行いました。

交流会は東員町民生児童委員が昨年5月に石和町を訪問して交流研修会を開催した際に再会を要望したことで実現。

当日は、再会を懐かしんで感激する人もいる中、9グループに分かれて民生児童委員活動の現状と課題などについて活発な意見を交わしました。



東員町・石和地区民児協 相互交流研修を終えて

寄稿

石和地区民児協会長 竹内 稔

今年度石和地区民児協には、県外の多くの皆様から交流会のお申し込みを戴きました。これにお応えする事により、私達が多くを学ぶ事が出来る良い機会と考え、5月24日東員町の皆様をお迎えしてから、6県の民児協の皆様と交流させて戴きました。中でも、東員町の皆様とは相互訪問という事で大変有意義な中身の濃い交流をして戴いたと思っております。

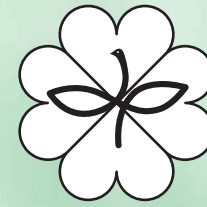
この度の交流会で特に印象的だったのは「高齢者実態把握事業」です。今の私達の民生委員活動にとって一番不足しているのが「情報」だからです。このような事業が行政と協力して出来るのは素晴らしい事と思います。これは災害時だけではなく、平時の実態を把握出来る事に意味があり、支援を求めている人を見逃さない為に必要な事と思います。この事につきましては、早速私達民児協で参考にさせて頂き検討する事と致しました。また、皆様が学校、地域関係施設などとそれぞれの地域の特色に合った関係作りをしている事、そして現職ばかりでなく、退任された方々との連携もしっかり出来ていることも興味深く感じました。そして、皆様の出席率の高さには驚きました。私達民児協では定例会は80%以上ですが、県外研修や懇親会への参加者は少なくなってしまうと思います。今後、工夫し改善しなければならぬと思いました。

この度は本当にいろいろな事を学ばせて戴きました。またいつの日か皆様と交流できます事を委員一同願っております。有難うございました。

民生児童委員だより

きずな

第17号



絆

2019年1月18日発行
東員町民生委員児童委員協議会
広報委員会
事務局 東員町社会福祉協議会内
TEL 0594-76-1560
<http://www.toinshakyo.or.jp/>



交流研修会のために訪れた石和地区民生委員児童委員の皆さん

年頭にあたって

東員町民生委員児童委員協議会

会長 小川 隆生



新年あけましておめでとうございます。

平素は、民生委員児童委員の活動に対しまして、ご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、今日、地域におきましては、国などから十分な支援を受けられず、さまざまな課題を抱えながらの生活を余儀なくされている人や家庭が少なからずあります。誰もが孤立せず地域の中で笑顔をもって生活できるようにするために、人と人とのつながりを強め、お互いが支えあえる地域を創っていくことが大切だと考えております。

私たち民生委員児童委員はこれまで以上、積極的に人びとに働きかけ「わがまちならでは」の取り組みを進めて参りたいと考えております。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

子供会のバス旅行に参加

城山1丁目子供会のバス旅行が昨年8月3日に行われました。

バス旅行は毎年この時期に行われ、児童と子供会役員並びに自治会役員と民生児童委員が参加する体験学習で、今回は津市の「おやつカンパニー」工場でベビースターラーメンの製造から発送までの工程を見学し、子どもたちは「お土産」をもらって大喜びでした。



三和小学校で餅つき大会

昨年11月17日、三和小学校で親子と高齢者による世代間交流餅つき大会が行われました。地域の民生児童委員も参加し、子どもたちが育てたもち米を地域のおじいさん、おばあさんと一緒についたあと、おいしくいただきました。



大木地区でお出かけ広場

昨年11月8日、子育て支援センターが大木集落センターで生後6カ月以上の乳幼児と親を対象として「お出かけ広場」を開きました。手伝いで参加した主任児童委員と地区の民生児童委員は子どもたちと一緒におもちゃで遊んだり踊ったりして楽しみました。



保育園幼稚園の運動会

昨年10月7日町内全域で幼稚園保育園の運動会が行われました。いなべ幼稚園保育園は前日の雨で順延になり地域の行事とも重なりましたが、子ども達の日ごろの成果や親子で楽しむ姿を見せて頂きました。民生児童委員はおじいさん、おばあさんと一緒に玉入れを楽しみました。



クリスマス会で園児と交流

東員町の全幼稚園保育園で昨年の12月18日にクリスマス会が行われ、民生児童委員が参加しました。園児が奏でる歌や楽器演奏を聞かせてもらい楽しいひと時を過ごしました。また、園庭でフォークダンスを楽しみました。



いずみ文化祭に出店

昨年11月4日、保健福祉センターで、いずみ文化祭が行われました。あいにくの天気でしたが大勢の人が訪れ、中学生のプラスバンド演奏やバザー、振る舞い餅などを楽しみました。

民生児童委員もポップコーンや綿菓子のコーナーを担当し、売上金はすべて社会福祉法人いずみへ寄付しました。



絵手紙で児童と高齢者が交流

神田地区民生児童委員は、神田小学校6年生の児童と高齢者が交流する活動として、児童が絵にメッセージを添えた絵手紙を民生児童委員と共にひとり暮らしのお年寄りを訪問し手渡す活動を行っています。

今回は昨年11月12日に神田小学校で、児童に民生児童委員の役割を話した後、元民生委員岡野明美さんから絵手紙の書き方を学び、チューリップやバラ、小鳥の絵の中から好きな絵を選んで完成させました。この絵手紙は2月に手渡す予定です。



商工祭でPR活動

東員町商工祭が、好天に恵まれた昨年10月21日、中央公園で開催され、私たち民生児童委員協議会も出店してポップコーンの販売と民生児童委員を理解してもらうためのチラシ入りポケットティッシュを配布してPR活動をしました。売上金の2万2千円全額を共同募金に繰り入れしました。



生活に困っている人の手助け

昨年暮れ、生活に困っている人の手助けになればと民生委員児童委員協議会（民児協）と社会福祉協議会（社協）が協力し、委員や職員が持ち寄った食料品を県社協を通じ、生活困窮者に食料を緊急に提供するNPO法人セカンドハーベスト名古屋に委託しました。

寄せられたのは米（約150キロ）をはじめカップ麺（約200食）やレトルト食品（約20食）など段ボール11箱分。昨年12月5日、民児協と社協の代表が、津市の県社協を訪れ、対応に当たってくれた松本利治常務理事（写真の向かって右）に目録を手渡しました。



北勢5町合同研修会の開催

平成30年度北勢5町民生委員児童委員合同研修会が昨年9月21日に木曾岬町の町民ホールで行われました。

研修会は、講師に高崎健康福祉大学健康福祉学部の金井敏教授を迎え「これからの小地域における民生委員児童委員活動」と題しての講演を聞きました。



ひとり暮らし家庭の防火診断

昨年11月12日、北大社地区ひとり暮らしの高齢者を対象に自宅の防火診断を民生児童委員が桑名市消防職員・女性消防団員と共に訪問して火災警報器、消火器の点検と防災対策の状況を把握しました。

最後に簡単なアンケートに答えて一軒ごとにアドバイスを頂きました。



桑員ブロック研修会

昨年11月30日、桑員ブロック（東員町・いなべ市・桑名市）民生委員児童委員研修会が、いなべ市の大安公民館で行われました。

研修会は、いなべ市の民生児童委員による寸劇「早寝・早起き・朝ごはん」（写真）とリズム体操のあと、元日本航空客室乗務員の榊美キャリア代表・西村由美氏を講師に迎え「民生委員としてのモチベーションを維持するために」と題しての講演を受けました。



笹尾ブロックの勉強会

昨年4月17日、社会福祉協議会の平川純也主事を招いて勉強会を開きました。被害妄想がみられ認知症の疑いのある高齢者の例が匿名で報告されました。

民生児童委員の日常活動の中で「認知症」の人にどう対応しているのかなど、悩みごとが多く出され、話は尽きませんでした。

